

健康状態に応じサプリ

ツルハホールディングス傘下でドラッグ店を展開する杏林堂薬局(浜松市)は顧客の健康状態に合わせたサプリメントの詰め合わせ販売するサービスを始める。管理栄養士が顧客の相談に応じ、必要な栄養素を判断する。まず8月から静岡県内の3店で開始。需要動向などを見極めた上で、2018年度中をめどに県内60店規模に広げる計画だ。健康相談の拠点として、他のドラッグ店との違いを打ち出す。



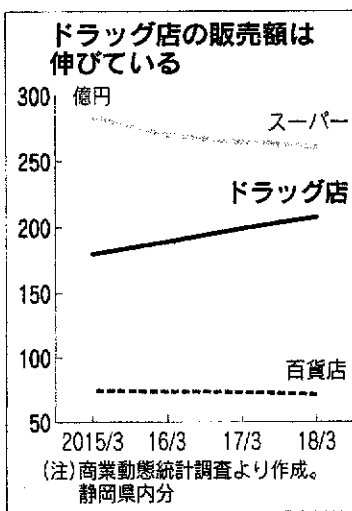
管理栄養士の相談サービスに力を入れる

杏林堂、詰め合わせ販売

必要な栄養素

管理士と相談

新サービスでは総合物流サービスのミス・バラエティー(静岡県富士市)傘下のサプリ会社、デザインサプリ(東京・品川)と連携。サプリは同社から調達する。第1弾として8月から新津店(浜松市)、静岡松富店(静岡市)、掛川花鳥園前店(静岡県掛川市)の3店で始める。利用者は日常生活の状況をチェックシートに記入。杏林堂薬局の管理栄養士が食事などについて聞き取りながら、改善策を助言するとともに、サ



プリで摂取すべき栄養素を判断する。専門家が判断する。35種類のサプリの中から、顧客ごとに必要な栄養素を選び、1日分ごとに詰め合わせて1〜3カ月分を提供する。サプリは組み合わせや利用者の栄養状態によって効果が生じにくいケースがある。35種類のサプリの中から、顧客ごとに必要な栄養素を選び、1日分ごとに詰め合わせて1〜3カ月分を提供する。サプリは組み合わせや利用者の栄養状態によって効果が生じにくいケースがある。35種類のサプリの中から、顧客ごとに必要な栄養素を選び、1日分ごとに詰め合わせて1〜3カ月分を提供する。サプリは組み合わせや利用者の栄養状態によって効果が生じにくいケースがある。



静岡県内で同日開催した設

エネルギー技術 開発推進

県が協議会、次世代産業育成

静岡県は31日、創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会を設立した。企業や研究機関、自治体、金融機関など100超の団体・個人が参加し、再生可能エネルギーなどの技術開発で連携する。意見交換などを通じ、エネルギーに関する次世代産業の育成を狙う。立総会II写真IIでは、再生エネの最新動向や地域創生の取り組みなどを紹介。協議会は10月までに、研究テーマごとにワーキンググループをつくる。その後はグループごとの活動や成果報告を経て、2019年度に共同研究などを始める計画だ。静岡県の16年度の再生可能エネルギー導入量は、固定価格買い取り制度(FIT)が始まった12年度に比べ約3.8倍の170万キロワット超だった。県は17年3月に、ふじのくにエネルギー総合戦略を策定し、創エネ・省エネのほか、新産業の振興や経済活性化を目標に掲げている。

土地の評価

濱松不動産鑑定株式会社
浜松市中区早馬町3-6 ☎053(454)0368

10店以上に拡大した。ドラッグ店は医薬品やサプリのほか、食品や日用品も取り扱い、集客力を高めている。商業動態統計調査の大型小売店等販売額(静岡県内分)では、ドラッグ店の18年3月の販売額は3年前に比べ15%拡大した。一方、スーパーと百貨店の販売額はともに減少した。杏林堂薬局は新サービスを通じ、顧客の二層の取り込みにつなげる考えだ。